

腹部臓器摘出機材貸出のシミュレーションのご協力をお願い

腹部臓器移植ご担当の先生方へ

平素より大変お世話になっております。

立春の候、皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

COVID-19の流行に伴い、摘出チームの負担軽減を考え、厚生労働科学特別研究事業「新型コロナウイルス感染症流行時に移植実施施設において脳死下・心停止下臓器移植医療を維持推進するための調査研究」として臓器摘出手術器械業者搬送システムを確立するためのシミュレーションを行うことといたしました。運搬機材を減らすことによる摘出チームの負担、人員削減が目的です。

今回、日本ステリ社に委託し、藤田医科大学の腹部臓器摘出機材を、愛知県、静岡県の臓器摘出に限定して貸し出しを行うこととさせていただきます。本シミュレーションがうまく運用されることにより、今後、運用地域の拡大へつながっていき、いずれはどの地域にも摘出機材を運搬することなく、摘出に向かえるようになることにつながります。本研究事業では、愛知県、静岡県の施設で発生したドナーからの臓器摘出に限定されますが、この貸し出しシミュレーションにご協力をお願い申し上げます。

詳細は別添え「腹部臓器摘出機材の貸し出しシミュレーションの実際」をご参照ください。ご不明な点がございましたら、藤田医科大学 伊藤までお問い合わせください。

何卒、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2021年2月8日

厚労特研究	研究代表者	藤田医科大学	伊藤泰平
	分担者	神戸大学	蔵満 薫
		長崎大学	曾山明彦
		東京大学	木下 修
		藤田医科大学	太田充彦
	協力者	藤田医科大学	剣持 敬
日本移植学会	理事長	東京女子医大	江川裕人